

様式①-1

平成29年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)：事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		高速道路関連施設整備対策	一級河川内部川	
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	170070	道路企画課	高速道推進班	059-224-3016
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町字名	
	20	四日市 市部 一般	四日市市 水沢野田町	
④事務事業名	高規格幹線道路等建設促進費			
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成			
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上			

2 事業計画の概要

事業計画の概要				
延長	L=5,800 m		事業着工	2017年度
河床整理	V= 50,000 m3		事業完了	2019年度
根固工	N= 352 個		供用開始	2020年度
立木伐採	A= 60,000 m2		B/C評価期間	50年
			全体計画事業費(億円)	1.300
			全体計画工期(年数)	4年
事業の目的				
当該河川は、護岸基部の洗掘や部分的な堆積が見られることから、護床工設置と河床整理を実施することで、施設の保全と洪水の防止を行うものである。また、当該河川流域内で整備される高速道路事業と一体となって整備を行う。				

3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	2.18
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益 交通事故減少便益 環境改善便益 待避・避難機能向上便益 快適性向上便益 交通遮断防止便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益 人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益 大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益 待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益 歩行者便益 アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益 家畜排泄物処理便益 大気質浄化・騒音遮断等便益	水質汚染抑制便益 家畜排泄物処理便益 大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益 生産基盤拡充便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益 単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	
テーブル7	その他	土地創出便益 更新便益 廃用損失	土地創出便益 更新便益 廃用損失	
粗便益①(現在価値合計)：B'(億円)				2.18
テーブル8	環境評価	自然環境 景観 文化 快適性 安全・安心	WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数	
粗便益②(現在価値合計)：E(億円)				0.00
粗便益③(現在価値合計)：<B'+E>(億円)				2.18
地域	四日市	に対応した地域係数		1
便益(現在価値合計)：B(億円) ((B'+E)×地域係数)				2.18
費用(現在価値合計)：C(億円) (費用計算テーブルより)				1.21
費用便益比：B/C				1.80

※費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

様式①-2

平成29年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)：事業地区・箇所別概要(2)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		高速道路関連施設整備対策事業	一級河川内部川	
②事業担当室	室CODE	担当室	担当グループ	電話番号
	170070	道路企画課	高速道推進班	059-224-3016
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町村字名
	20	四日市	市部 一般	四日市市 水沢野田町

2 政策的重要度評価(個別評価)

(a) 戦略性

【全分野共通要件】

1	
2	
3	他事業と一体的に整備する必要がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

新名神高速道路の雨水排水の流末となる内部川について、新名神高速道路の供用を平成30年度に控えている中で、スムーズな事業進捗のために流末の整備を進める必要がある。

(b) 緊急性

【当該事業分野の事項】

I	
II	
III	
IV	
V	
VI	
VII	大規模プロジェクト等に関連して整備が必要な箇所の整備

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

新名神高速道路の関連事業であり、高速道路の整備促進に必要な重要事業である。

(c) 熟度

【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

水沢地区の連合自治会から毎年要望が出されている。また、新名神高速道路の平成30年度の供用に向け、一体的に進める必要がある事業。

【評価結果(優先度判定の結果)】

III
